

平成 28 年度事業報告

I 事業総括

当財団は、サンスターグループの社是「常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する」に寄与すべく、平成 28 年度の事業計画に従って、以下の事業を推進しました。

(1) 人々の健康増進の実現と健康経営の実践

附属千里歯科診療所は一昨年 7 月に移転し、1 周年を迎え過去最高の診療収入を達成しました。新たな取組みとして、医療サービスの質の向上を目指し、診療所スタッフの行動指針「クレド」を策定・試験導入しました。親子や高齢の患者様を対象にした歯科セミナーを定期的実施し、患者様満足度の向上に努めました。産業歯科健診事業は、厚生労働省が進めるデータヘルス計画を背景に新規顧客開拓に努め、実施人数は 39,019 人と拡大しました。健康経営実践に向けた健康推進事業では、労働安全衛生法で義務化された社員へのストレスチェック導入や社員の健康増進に向けた保健事業満足度アンケートを実施致しました。

(2) 事業会社との連携強化

開発中のオーラルケア製品の臨床評価や、同意を得られた社員の唾液サンプル採取および健康データの提供などを行い、事業や基礎研究につながる活動を行いました。

(3) 新たな事業へのチャレンジ

土室心身健康道場において、社員を対象に「35 歳研修」を本格的にスタートしました。また、道場の外部展開の可能性を検討するため、一般の消費者を対象に、日帰り体験のモデル事業を実施しました。広報活動として、財団活動を国内外に積極的に配信し、120 件の記事化を実現しました。

財務面では、上記の事業活動により経常収益で 645,329 千円(計画 672,286 千円)、経常費用 625,987 千円(計画 668,089 千円)、当期経常増減額(税引前)は 19,342 千円(計画 4,197 千円)となりました。

■財団経常収支実績 (単位:千円)

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	672,286	645,329	▲ 26,957	494,795
経常費用	668,089	625,987	▲ 42,102	512,918
当期経常増減額(税引前)	4,197	19,342	15,145	▲ 18,123

※一昨年の決算月変更に伴い、前年実績は平成 27 年 4 月から 12 月までの 9 ヶ月間となります。

II 事業報告

1. 学術講演事業 (別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ①学術講演)

全世界で 20 回目となる「糖尿病、口腔保健と栄養の推進セミナー」を、平成 28 年 1 月 15 日(金)にシンガポールで開催いたしました。日本における 7 回開催の経験も活かし、「Asia における糖尿病治療・予防とその全身・口腔の健康に向けた最前線の取組み」をテーマとして、東南アジアの医科・歯科専門家 419 人の参加を得て、日本・シンガポール主要新聞各紙、Yahoo!Japan ニュースなど多数の記事化を通し、最新の健康啓発の幅広い情報発信を達成しました。

さらに、現場に密着した糖尿病地域連携を推進する目的で、「徳島県歯科衛生士会&栄養士会の合同研修会」を平成 28 年 7 月 31 日(日)に徳島にて開催。歯科衛生士と栄養士の計 56 名の参加を得て、KOL 間の理解を深め、糖尿病患者に貢献することができました。

また、今年度が第1回目の「糖尿病予防指導認定歯科衛生士研修」に関して、日本歯科衛生士会から研修委託を受けた徳島大学と協力して、平成28年11月6日（日）に「第1回健口フェア」を開催しました。

以上の活動の結果、学術講演事業の事業収支は、経常費用1,022千円、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲1,022千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	0	0	0	26,000
経常費用	3,358	1,022	▲ 2,336	26,200
当期経常増減額（税引前）	▲ 3,358	▲ 1,022	2,336	▲ 200

※一昨年の決算月変更に伴い、前年実績は平成27年4月から12月までの9ヶ月間となります。

2. 助成事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ②助成活動）

(1) 金田博夫研究助成基金平成28年度海外留学受給者は、医師、歯科医師各1名となりました。

平成21年度から開始しました同研究助成では、すでに10名の受給者のハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センターへの留学を助成しておりますが、8年目となる本年度は、下記の医学博士、歯科医師の留学の助成を決定しました（五十音順）。

◆平成28年度受給者(2名)

医師 木村友彦 (38歳)
 所 属 川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学 臨床助教
 研究課題* インクレチン関連薬（GLP-1受容体作動薬）長期投与による
 GLP-1受容体発現の変化

歯科医師 楠山譲二 (32歳)
 所 属 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 口腔生化学分野 助教
 研究課題* 糖尿病における骨芽細胞と筋細胞のロコモ・アソシエーションの解析

*研究課題は応募時のものです。

従来の募集案内の専門雑誌掲載に加えて、プレス発表により日本歯科新聞、週刊粧業、日本商業新聞等40を超えるWeb媒体や業界誌の記事掲載を獲得、財団ホームページのアクセスも増加し、認知拡大に努め、応募者数の増加につなげました。

*（参考）金田博夫研究助成基金（海外留学助成規程）

糖尿病、糖尿病合併症の予防・治療を目指した基礎研究ならびに臨床への応用研究を支援する。歯科分野、医科分野、栄養学分野、生化学分野等の若手研究者を対象として、当財団が指定する海外の大学等研究機関に2年間留学する渡航費、ならびに滞在費を補助することにより、わが国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的として平成21年度に創設されました。

◆留学先

米国マサチューセッツ州ボストン市ハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センター

◆助成内容

留学期間は最長2年間とし、渡航費及び滞在費（2年間合計／11万ドル＋100万円）を支給する。なお、過去の受給者等は、サンスター財団ホームページをご参照下さい。

<http://www.sunstar-foundation.org/aid/historical/>

(2) 同基金のサポートによる対外発表

藤坂志帆氏（富山大学大学院医学薬学研究部 第一内科）、片桐さやか氏（東京医科歯科大学 歯周病学分野 助教）の研究成果が The Journal of Clinical Investigation[1]、Diabetes[2]に掲載されました。また、佐竹栄一郎氏（浜松医科大学医学部小児科）の研究成果が、米国内分泌学会[3]および National Kidney Foundation [4]で発表されました。

- [1] **Shiho Fujisaka**, Siegfried Ussar, Clary Clish, Suzanne Devkota, Jonathan M. Dreyfuss, Masaji Sakaguchi, Marion Soto, Masahiro Konishi, Samir Softic, Emrah Altindis, Ning Li, Georg Gerber, Lynn Bry, and C. Ronald Kahn, Antibiotic effects on gut microbiota and metabolism are host dependent, *The Journal of Clinical Investigation*; 126(12), 4430-4443, 2016
- [2] **Sayaka Katagiri**, Kyoungmin Park, Yasutaka Maeda, Tata Nageswara Rao, Mogher Khamaisi, Qian Li, Hisashi Yokomizo, Akira Mima, Luca Lancerotto, Amy Wagers, Dennis P. Orgill, George L. King, Overexpressing IRS1 in Endothelial Cells Enhances Angioblast Differentiation and Wound Healing in Diabetes and Insulin Resistance; *Diabetes*, 65(9), 2760-2771, 2016
- [3] **Eiichiro Satake**, Stephanie Croall, Adam M. Smiles, Andrzej S. Krolewski, Marcus G. Pezzolesi, Circulating microRNA profiling in patients protected against diabetic nephropathy despite more than 40 years duration type 1 diabetes; *Endocrine Society*, Boston April, 1-4, 2016
- [4] **Eiichiro Satake**, Stephanie Croall, Adam M. Smiles, Andrzej S. Krolewski, Marcus G. Pezzolesi, Circulating plasma microRNA profiling associated with proteinuria and impaired kidney function in type 1 diabetic patients with nephropathy; *National Kidney Foundation*, Philadelphia, 2016

(3) 公益社団法人 日本歯科衛生士会主催学術賞（サンスター財団賞）に協賛しました。

本年度は、奨励賞 2 名が授賞しました。

- ・奨励賞 植木麻有子 : 障害支援区分からみた知的障害者の口腔保健支援のあり方の検討
- 福池久恵 : 歯科受診患者の口腔衛生状態と抑うつ傾向に関する調査

* 日本歯科衛生士会学術賞

日本歯科衛生学会の創立を記念し平成 18 年に創設されました。学術賞は歯科衛生の向上と実践に根ざした学術研究において優れた成果をあげ、人々の健康と福祉に寄与する研究に対し、その功績を称え、表彰します。本学術賞は、学術論文賞（サンスター財団賞）と学術発表賞（ライオン歯科衛生研究所賞）があります。

以上の活動の結果、助成事業の事業収支はサンスター株式会社から同事業に対する協賛寄付金収入 24,733 千円、留学助成金、選考委員会運営費用などの経常費用 25,589 千円、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲856 千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	34,000	24,733	▲ 9,267	20,800
経常費用	35,948	25,589	▲ 10,359	22,480
当期経常増減額(税引前)	▲ 1,948	▲ 856	1,092	▲ 1,680

※一昨年の決算月変更に伴い、前年実績は平成 27 年 4 月から 12 月までの 9 ヶ月間となります。

3. 調査研究事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ③調査研究）

日本歯周病学会、日本臨床歯周病学会、日本口腔インプラント学会をはじめとした、歯科専門分野の学会や講演会に、附属千里歯科診療所歯科医師・歯科衛生士が多数参加し、最新の研究成果や学術情報の収集に努めました。また、日々の臨床で得られた知見をまとめ、下記の学会で講演を行いました。2015 年の論文投稿により、2016 年 9 月 17 日～19 日、広島国際会議場で開催された日本歯科衛生学会第 11 回学術大会において附属千里歯科診療所 歯科衛生士長の福池久恵さんが、学術論文賞奨励賞を受賞しました。（その他活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(4)～(5)」を参照）。

以上の活動の結果、調査研究事業における事業収支は、経常費用 7,242 千円、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲7,242 千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
経常収益	0	0	0	0
経常費用	6,056	7,242	1,186	7,164
当期経常増減額(税引前)	▲ 6,056	▲ 7,242	▲ 1,186	▲ 7,164

※一昨年の決算月変更に伴い、前年実績は平成 27 年 4 月から 12 月までの 9 ヶ月間となります。

4. 臨床教育事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 継続事業 ④臨床教育）

大阪、兵庫地区の歯科衛生士学校 4 校からの実習生 19 名に対し、のべ 145 日間の臨地教育を行いました。今年度は、従来から受け入れ実績のある神戸常盤短期大学、太成学院大学、大阪歯科学院専門学校に加えて、なにわ歯科衛生専門学校の受け入れを開始しました。また新たな取り組みとしては、神戸常盤短期大学のリカレント教育キャリアアッププログラムに協力し、臨床現場に復職する方の臨床見学の場を提供することになりました。

以上の結果、臨床教育事業の事業収支は、歯科衛生士学校からの受講料収入 140 千円、経常費用 11,323 千円、当期経常増減額（税引前営業利益）は▲11,183 千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事業収益	0	140	140	47
事業費用	9,131	11,323	2,192	9,912
当期経常増減額(税引前)	▲ 9,131	▲ 11,183	▲ 2,052	▲ 9,865

※一昨年の決算月変更に伴い、前年実績は平成 27 年 4 月から 12 月までの 9 ヶ月間となります。

5. 歯科健診・保健指導事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑤歯科健診保健指導）

予防事業部が行った産業歯科健診活動および歯科保健活動の対象者は、今年度は活動件数 621 件、82,515 人でした（活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(1)～(3)」を参照）。

(1) 産業歯科健診保健活動

本年度の歯科健診事業は 28 健保、合計 39,019 人（前年比+15,917 人）を対象に実施しました。新しい取り組みとして、口臭測定を取り入れました。

働きざかりの 30 代～50 代で、本年度に初めて歯科健診を受診した 7,232 人（初回者）と 6 回以上受診している 10,178 人（リピーター者）を比べると、歯科保健指導で注力している歯間清掃具の使用と定期的な歯科医院の予防処置の受診は、歯間清掃具の使用率は初回者 38.9%・リピーター者 53.6%、通院率は初回者 43.7%・リピーター者 47.7%と指導の効果がみられました。う蝕保有者率は初回者 40.6%・リピーター者 30.3%、歯周病の疑いのある者の率は初回者 88.8%・リピーター者 84.1%と歯科健診のリピーター受診による成果がみられました。

歯科に関する問診の回答内容から口腔内の状態や歯科保健行動を判定し、具体的な保健指導の情報提供を行う「口腔内診査を伴わない新たな歯科健診」（おロケア 30days トライアル）は、新たに 1 団体を受諾し、2 団体 2,128 人（前年比+1,362 人）に対し実施しました。歯科健診と歯科保健指導は合計で 143,438 千円の事業収入となりました。

(2) 8020 運動啓発などの歯科保健活動

「健康日本 21」政策に準拠し、歯科保健関係部局・歯科医師会等と連携した歯科保健啓発活動をサンスター株式会社からの業務委託により全国を対象に 188 件、20,660 人に実施しました。（前年 137 件、15,526 人）。大手量販店、ドラッグストア・ホームセンター等に来店される親子連れを対象に、歯科口腔保健の重要性、歯周病と全身疾患との関わり等を中心に、正しい歯科保健指導を 102 件・16,159 人に実施しました。歯科健診と同様に口臭測定を取り入れた保健指導も実施しました。

福岡県うきは市の公民館でのセミナーや愛媛県西条市の防災フェスタでの災害時における歯磨き指導や大阪府高槻市にて地域住民に対する歯科保健指導も実施しました。また昨年引き続き、阿波踊り・信玄公祭り・関西オープンゴルフ等のイベントでの個別指導実施、また病院の職員や糖尿病患者へのオーラルケアのセミナーを実施しました。

(3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

母親教室・ハミガキ教室・フッ素塗布・歯科保健指導等を年齢に合わせた指導メニューにより、全国 184 件、20,708 人を対象に実施しました（前年 131 件、14,973 人）。

サンスター株式会社の地域住民への貢献活動として、①高槻市教育委員会との連携による高槻市内小学校 3 年生、中学生 3 年生を対象とした歯科保健指導、②大阪市学校歯科医会の事業に参画し、大阪市内の小学校でのフッ素塗布、③東京都荒川区教育委員会と公益社団法人荒川区歯科医師会（学校歯科医会）と連携し荒川区小学校 3 年生、5 年生、中学校 1 年生を対象とした歯科保健指導とフッ化物洗口指導、④東近江市学校保健会の事業に参画し、東近江市の中学校に歯科保健指導を行いました。以上により小学校 112 校、9,406 人、中学校 38 校、5,000 人の啓発活動を行いました。⑤近畿エリアの幼稚園・保育園の園児に対して紙芝居等の教材を用いた歯科保健指導を 33 校、6,279 人、養護学校への歯科保健指導を 1 校、23 人に啓発活動を行いました。

(4) 妊産婦および乳幼児と自閉症児に対する歯科保健活動

妊産婦、乳幼児の歯科保健の向上を目的に産婦人科医と歯科医師が協同で製作した啓発冊子を本年も継続して斡旋しました。斡旋開始（2006年）から、のべ16,115冊を提供しました。

障がいのある子どもたちの歯科保健の向上をはかることを目的とし、養護教諭及び障がい児教育担当教員、自閉症支援の専門療育スタッフと連携し製作した自閉症のお子様への歯科保健指導教材の斡旋を継続して実施しました。指導教材の斡旋開始（2007年）から絵カード674組、動画648本を提供してきました。

以上の活動の結果、歯科健診保健指導事業における事業収支は、事業収益が202,860千円、経常費用172,563千円、当期経常増減額（税引前利益）は30,297千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事 業 収 益	211,300	202,860	▲ 8,440	124,298
事 業 費 用	179,574	172,563	▲ 7,011	127,176
当期経常増減額（税引前）	31,726	30,297	▲ 1,429	▲ 2,878

※一昨年の決算月変更に伴い、前年実績は平成27年4月から12月までの9ヶ月間となります。

6. 歯科診療事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑥歯科診療）

(1) 歯科診療

千里歯科診療所は平成27年7月に現在の「SENRITO よみうり」に移転拡張し一年が経過しました。本年度の総受診者数は28,546人、そのうち新患数は1,316人と、昨年度の実績をともに大きく上回りました（平成27年度は総受診者21,740人、新患数1,039人）。その結果、歯科診療収入は過去最高の259,460千円となりました。また、本年度も大阪府・堺市・大阪市・兵庫県の小児慢性特定疾患治療研究事業指定診療所として延べ61人の1型糖尿病患者の歯周病治療を行いました。

(2) 研究委託

サンスター事業会社が開発中の製品に対する臨床評価、電子カルテを活用した研究テーマに関する臨床データの提供等により、業務委託収入は昨年度の実績（2,922千円）を大きく上回り、7,133千円の実績を得ました。

(3) 商品販売

千里診療所での患者様向け窓口商品販売では、昨年度同様、受付・歯科衛生士が連動し、推奨キャンペーンを展開するとともに、商品展示スペースや待合室ディスプレイを活用した商品紹介を行うなどの取り組みにより、6,382千円となりました。

歯科診療事業の事業収支は、275,182千円の事業収益に対し、経常費用250,278千円、当期経常増減額（税引前利益）は24,904千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事 業 収 益	284,000	275,182	▲ 8,818	196,636
事 業 費 用	268,916	250,278	▲ 18,638	199,685
当期経常増減額（税引前）	15,084	24,904	9,820	▲ 3,049

※一昨年の決算月変更に伴い、前年実績は平成27年4月から12月までの9ヶ月間となります。

7. 商品販売（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 商品販売⑦）

官公庁（独立行政法人 国立病院機構など）等の公的団体を対象に、各団体の福利厚生の一環として口腔ケア商品の企画提案、斡旋を積極的に推進してまいりましたが、官公庁の保健事業の見直しや、薬品卸流通への移行が多く、本年度の予算とは大きく下回り事業収支は5,523千円の事業収益となりました。仕入原価等の経常費用5,360千円、当期経常増減額（税引前利益）は163千円となりました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事 業 収 益	16,500	5,523	▲ 10,977	1,511
事 業 費 用	8,592	5,360	▲ 3,232	2,926
当期経常増減額（税引前）	7,908	163	▲ 7,745	▲ 1,415

※一昨年の決算月変更に伴い、前年実績は平成27年4月から12月までの9ヶ月間となります。

8. 健康推進事業（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 その他会計 ⑧健康推進）

本年度は、ストレスチェックの実施義務化に伴い、定期健康診断に合わせて実施し、高ストレス社員の抽出と保健師や産業医による面談指導を行いました。一昨年より就任して頂いている精神科産業医の協力でメンタルヘルスの強化に取組み、階層別研修とセルフケアセミナーを実施しました。また、事業会社とのコラボレーション事業として、オーラルケアカンパニー研究部の委託を受け、口腔内細菌叢及び腸内細菌叢と健康管理データの解析に関する唾液と糞便のサンプル提供とデータ抽出に取組みました。

(1) ストレスチェックの実施

労働安全衛生法の改定によるストレスチェックテストの義務化に伴い、定期健康診断時に合わせてストレスチェックテストを実施しました。サンスターの結果は、92%という受検率で十分な水準でした（厚生労働省安全衛生部労働衛生課の調査によると受検機関の55%が90%以上）

(2) データヘルス計画の策定と実施

サンスター健康保険組合の保健事業のサポートとして、保健事業満足度アンケート調査を実施しました。その中で被保険者にとって「重要であり満足度が高い」事業は「歯科健診事業」と「インフルエンザ予防接種費補助事業」でした。また、サンスター健康保険組合に取組んで欲しい事業の希望調査の結果は、被保険者・被扶養配偶者ともに「人間ドック」が一番でした。

(3) 土室心身健康道場を活用した日帰り研修の実施

サンスターグループ社員向けに実施して参りました健康道場の研修プログラムを広く一般の消費者にも紹介し、玄米菜食による少食健康法と運動の大切さを理解して頂き、健康道場ブランドのファンになって頂くため、大阪府北摂地域にお住まいの通販の顧客にご案内し、日帰り研修を実施しました。延べ13名の通販顧客が参加され、「健康道場」ブランドの原点であるサンスター心身健康道場の健康法の真髓を体験されました。

■事業収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
事 業 収 益	115,756	119,808	4,052	84,781
事 業 費 用	96,537	93,840	▲ 2,697	66,361
当期経常増減額（税引前）	19,219	25,968	6,749	18,420

※一昨年の決算月変更に伴い、前年実績は平成27年4月から12月までの9ヶ月間となります。

9. 法人会計（別紙 実施事業区分別正味財産増減計算書 法人会計）

理事会・評議員会等の開催

・平成 28 年度 第 1 回理事会

開催日：平成 28 年 2 月 28 日（日）

開催場所：京都ホテルオークラ

決議事項：平成 27 年度事業報告についての承認、
同年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認、
平成 28 年度定時評議員会招集についての承認

出席：理事 8 名（総数 13 名）、監事 1 名（総数 2 名）他

・平成 28 年度 定時評議員会

開催日：平成 28 年 3 月 19 日（土）

開催場所：リーガロイヤルホテル大阪

決議事項：平成 27 年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認
報告事項：平成 27 年度事業報告

附属千里歯科診療所移転後の状況について

出席：評議員 4 名（総数 6 名）、監事 1 名（総数 2 名）、理事会側から理事長他

・平成 28 年度 第 2 回理事会

開催日：平成 27 年 11 月 5 日（土）

開催場所：サンスター株式会社内 会議室 スカイホール

決議事項：金田博夫研究助成基金「平成 28 年度海外留学交付対象者」の承認、
平成 29 年度事業計画についての承認

出席：理事 11 名（総数 13 名）、監事 2 名（総数 2 名）他

法人会計収支は、17,083 千円の寄付金等収入に対し、上記の理事会、評議員会等の会議運営、人件費等 58,768 千円の管理費を計上。当期経常増減額（税引前営業利益）は▲41,685 千円となりました。

■法人会計収支実績（単位：千円）

	予 算	実 績	差 異	前年実績
受 取 寄 付 金 他	10,730	17,083	6,353	40,723
管 理 費	59,977	58,768	▲ 1,209	51,013
当期経常増減額（税引前）	▲ 49,247	▲ 41,685	7,562	▲ 10,290

※一昨年の決算月変更に伴い、前年実績は平成 27 年 4 月から 12 月までの 9 ヶ月間となります。

Ⅲ 補助金・寄付金収入

1. 補助金

大阪府より障がい者歯科診療補助金 874 千円を交付されました。

2. 寄付金

下記団体より合計 38,400 千円 の寄付金を受け取りました。

・サンスター株式会社	26,800 千円
・STARLECS 株式会社	11,600 千円

■当財団人員数(平成 28 年 12 月 31 日現在 常勤職員及び出向社員)

	千里歯科 診療所	予防 事業部	健康 推進室	事務局	合計
歯科医師	5 人				5 人
歯科衛生士	14 人	15 人	1 人		30 人
産業医			1 人		1 人
保健師			2 人		2 人
事務職他	4 人	1 人	1 人	4 人	10 人
合計	23 人	16 人	5 人	4 人	48 人

IV 事業活動詳細報告

(1) 産業歯科健診活動

①企業・団体の事業所での歯科健診	247 事業所	39,019 人
②団体での通信講座による歯科健診・保健指導	2 件	2,128 人

(2) 8020運動啓発等の歯科保健活動

①量販店顧客での個別および集団歯科保健指導	102 件	16,159 人
②地域・保健所・歯科医師会等での歯科保健指導	22 件	1,519 人
③企業での歯科保健指導	17 件	525 人
④得意先・イベント等での歯科保健指導	28 件	1,565 人
⑤社内行事等における歯科保健指導	12 件	661 人
⑥病院職員・患者様向け歯科保健指導	7 件	231 人
	計 188 件	計 20,660 人

(3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

①保育園・幼稚園・母親教室における歯科保健指導	33 園	6,279 人
②小・中学校における歯磨き指導・フッ化物塗布	150 校	14,406 人
③心身障がい児(者)施設における歯科保健指導	1 件	23 人
	計 621 件	計 82,515 人

(4) 主な研究発表・講演

4 月	日本臨床歯周病学会関西支部教育研修会教育講演	鈴木
7 月	日本臨床歯周病学会年次大会サンスターランチョンセミナー	鈴木
	日本臨床歯周病学会年次大会認定衛生士限定セミナー	鈴木
	奈良県歯科衛生士会研修会講演	福池
9 月	日本歯科衛生学会(広島)	鈴木・福池
12 月	愛知県歯科衛生士会名古屋尾張北支部研修会	福池

(5) 主な学会・講演会参加

3月	京都府歯科衛生士会研修会（京都）	福池・茨木
4月	臨床歯周病学会関西支部（大阪）	鈴木・福池・茨木
5月	日本歯周病学会（鹿児島）	野田・三宅
6月	世界歯科衛生士大会（スイス） 日本医療機器学会（大阪）	福池・江川 野田
7月	日本臨床歯周病学会（福岡） 感染症予防歯科衛生士講習会（兵庫）	野田・鈴木 野田・津崎
8月	日本歯科審美学会（札幌）	茨木・鈴木
9月	日本歯科衛生学会（広島） 大阪府歯科衛生士会研修会（大阪） 摂食嚥下リハビリテーション学会（新潟） 日本歯周病学会（新潟） 日本口腔インプラント学会（名古屋）	福池・野田 福池・野田 広田・土井 三宅 徳岡・鈴木
10月	日本小児歯科学会（大阪）	坂井
11月	認定歯科衛生士セミナー糖尿病予防指導プログラム 臨床歯周病学会関西支部（大阪）	福池・野田 鈴木・福池・茨木

以上